

研究会・地域部会の報告書

提出者：中川 博之 / 提出日：2021.4.28

研究会・地域部会名	関西地域部会
代表者(所属機関名)	中川 博之 (住友化学株式会社)
タイトル(イベント名)	第30回バイオメディカル研究会 「健康を測るセンシング技術」
日時	2021年4月27日 13:30~16:15
場所	ウェビナー (zoom)
共催団体	公益財団法人都市活力研究所
後援団体	NPO法人近畿バイオインダストリー振興会議、 NPO法人バイオグリッドセンター関西
参加人数	登録152名(講師・座長含む。JSBi会員8名、賛助会員20名。)、瞬間最大聴講119名
<p>目的：新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) により生活が一変した現在、非接触で健康状態を把握することがこれまで以上に求められている。そこで、今回は健康状態を測るセンシング技術の進展に焦点を当てると共に、健康状態を測るためにバイオインフォマティクスが果たすべき役割について議論した。</p>	
<p>概要：下記4題を講演頂いた。詳細なプログラムは以下のリンク参照。 (https://www.jsbi.org/activity/event/jsbi-relation/detail--id-292.html)</p> <p><演題></p> <p>講演1 「アイトラッキング法を利用した次世代型認知機能評価法の開発とその社会実装に向けて」 武田 朱公 先生 (大阪大学大学院医学系研究科 准教授)</p> <p>講演2 「脳波センシングとAIを活用した医療・ヘルスケア創生 ～ブレインビッグデータが拓く未来社会～」 関谷 毅 先生 (大阪大学産業科学研究所 教授)</p> <p>講演3 「新型コロナの呼気オミックス解析と未来型呼気医療」 赤池 孝章 先生 (東北大学大学院医学系研究科 教授)</p> <p>講演4 「音声バイオマーカーの開発の現状と課題」 徳野 慎一 先生 (東京大学大学院工学系研究科 特任教授)</p>	
<p>成果および感想：</p> <p>今回のテーマは大きな関心を呼び、参加登録開始1日で定員100名超過したため、急遽200名に引き上げた。結果として、過去最多の登録者数となり、オンラインのウェビナーでは通常7割程度の聴講(視聴率)となるが、想定を上回り最高で8割近くの視聴率となり、閉会后に資料が欲しいとの問い合わせも複数頂いた。資料に関しては、差支えの</p>	

無い範囲で公開頂けるように先生方をお願いしている。ご講演は、視線、脳波、呼気、音声、いずれも非接触もしくはリモートで計測できる技術に関わるもので、単独ではもちろんのこと、これらを組み合わせてリアルタイムで高度な診断や見守りが可能になるのではないかと想像を掻き立てられる内容であった。快くご講演を引き受けて下さった4人の先生方、活発な質疑を行って下さった参加者の皆様、このプログラムの実現にご尽力いただいた座長を始め関係者の方々に、心から感謝したい。

緊急事態宣言下での開催となったが、オンラインの強みを活かし、滞りなく実施することができた。関西地域部会としては、新型コロナウイルス感染防止に努めながら、今後もバイオインフォマティクスを中心とした異分野融合とイノベーション促進に寄与していきたい。